

● ● ● 他にもこのような事業があります ● ● ●

事業名	内容	子育て世代の方	高齢者の方	介護でお悩みの方	障がいのある方	連絡先
善意銀行運営事業	皆様からの善意の金銭、タオル等の家庭介護用品や使用済切手などの物品をお預かりし、必要としている方々に、また福祉のまちづくりをすすめるために活用します	●	●	●	●	総務課 ☎443-3720
エンディングプラン・サポート事業助成金支給事業	高砂市のエンディングプラン・サポート事業利用において、協力葬業者と生前契約を交わす際に必要となる費用の一部を助成します(上限5万円)		●			地域福祉課 ☎444-3020
生活支援体制整備事業	高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを目的に、各地区に「協議会」を設置し、生活支援コーディネーターとともに「こんな地域になったらいいよね!」との思いを話し合い、その実現に向けてみんなで互助の取り組みを進めます		●			地域福祉課 生活支援体制整備担当 ☎443-3725
生活福祉資金貸付事業	低所得世帯で、一時的に生活に困窮している世帯に対し、その必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社会福祉協議会による相談支援を行います	●	●	●	●	地域福祉課 ☎444-3020
介護保険事業(訪問介護)	要介護、要支援状態にある高齢者に対し、訪問介護員がご家庭を訪問して、食事・入浴・排泄などの介護や、調理・掃除・洗濯等の家事などの日常生活のお手伝いをします		●	●	●	介護事業課 訪問介護事業担当 ☎443-3408
障害福祉サービス事業(居宅介護・同行援護)	障がいのある方に対し、訪問介護員がご家庭を訪問して、食事・入浴・排泄などの介護や、調理・掃除・洗濯等の家事、視覚障害者の外出支援など日常生活のお手伝いをします	●	●	●	●	
介護保険事業(居宅介護支援)	要介護、要支援状態にある高齢者に対し、介護支援専門員がご本人・ご家族の思いや希望を考慮し、介護保険サービスを利用するためのケアプランを作成します		●	●	●	介護事業課 居宅介護支援事業担当 ☎444-4816
いきいき百歳体操事業	高齢者が住み慣れた地域で元気でいきいきとした生活が送れるように、おもりを手首や足首につけて椅子に座って行う筋力体操を行い、介護予防に取組みます		●			地域包括支援センター ☎443-3723
日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)	判断能力に不安のある方を対象に、在宅生活を送る上で必要な日常的な金銭管理や福祉サービス利用に係る手続きを支援します		●		●	成年後見支援センター ☎451-6478

● ● ● お気軽にお問い合わせください ● ● ●

編集・発行

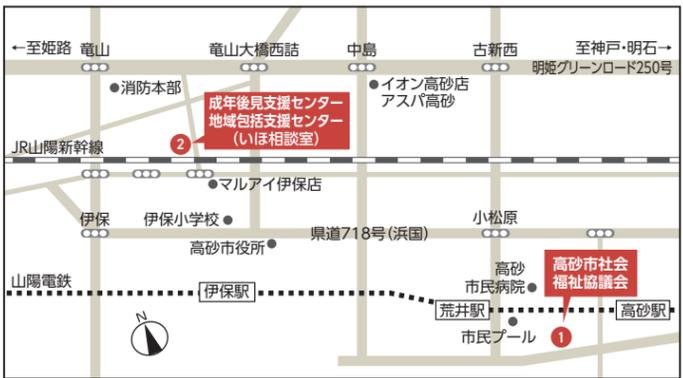
社会福祉法人
高砂市社会福祉協議会

① 〒676-0023 兵庫県高砂市高砂町松波町440-35
高砂市ユーアイ福祉交流センター内
(ユーアイ帆っとセンター)

TEL : (079) 443-3720(代)
FAX : (079) 444-4865
URL : <http://www.takasago-syakyo.or.jp/>

② 〒676-0078 兵庫県高砂市伊保4丁目400
高砂市福祉総合相談センター内

TEL : (079) 451-6475(地域包括支援センター いほ相談室)
(079) 451-6478(成年後見支援センター)
FAX : (079) 451-6476



- ① 高砂市社会福祉協議会(高砂市ユーアイ福祉交流センター1F・2F)
- ② 成年後見支援センター・地域包括支援センター いほ相談室(高砂市福祉総合相談センター2F)

(2024年4月発行)



障がい相談



Q 障がいのある子どもがいるが、どんな福祉サービスが利用できるか相談したい。

A 相談支援専門員が相談に応じます。ご本人・ご家族の思いや希望を考慮し、障害福祉サービスを利用するための相談支援計画の作成等を行います。
介護事業課 ☎443-3408



子育て支援



Q 仕事の都合で子どもの保育園へのお迎えに間に合わないことがある。代わりに行ってもらえる制度はないか？

A ファミリーサポートセンターのご利用はいかがでしょうか。依頼会員として登録するとご利用いただけます。センターが援助をされる提供会員を紹介します。利用料は30分あたり350円です。
ファミリーサポートセンター ☎442-0555



レクリエーション器材の貸出



Q ふれあいいきいきサロンのプログラムを企画しているが、参加者が楽しむことのできるレクリエーション器材を借りたい。

A 多数のレクリエーション器材を取り揃えています。貸出は無料、貸出期間は2週間です。その他、DVDもあります。
地域福祉課 ☎444-3020



ボランティア活動



Q ボランティアを始めてみたい。自分に合ったボランティア活動を紹介して欲しい。

A ボランティアを始めたい人を対象に様々な講座を開催しています。また、安心して活動ができるようコーディネーターが相談に応じます。
ボランティア活動センター ☎442-4047



車いすの貸出



Q 母親が退院したが、歩行が不安定なので、通院や買い物に連れて行くのに車いすを利用したい。

A 社協では車いすの貸出(無料)及びリフトカーの貸出(実費負担有)を行っています。お気軽にご利用ください。
総務課 ☎443-3720



電動ベッドの貸出



Q 家族が入院していたが、退院が決まり在宅で介護することになった。電動ベッドが必要だが、どこか貸してくれないかな。

A 善意銀行に寄贈いただいた電動ベッドを無料で貸出しています。搬入代・搬出代は別途必要です。
総務課 ☎443-3720



高齢者虐待



Q 虐待にあっている高齢者を知っているが、どうすればよいかわからない…。

A 迷わず地域包括支援センターへご一報ください。連絡した人の個人情報 は秘密にしますのでご安心ください。必要に応じて、施設や他の機関と連携して、高齢者を守ります。
地域包括支援センター(本部・いほ相談室) ☎443-3723(本部) ☎451-6475(いほ)



成年後見制度の支援



Q ひとり暮らしの高齢者のAさん。身寄りはおらず、最近認知症が始め、身の回りのことができなくなってきた。どこに相談したらいいのかな。

A 認知症や知的障がい・精神障がい等により判断能力が十分でない人の権利を擁護するため、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう成年後見制度の利用に関する支援を行います。
成年後見支援センター ☎451-6478



認知症の家族会



Q 母親の認知症が進んできており、在宅介護に不安がある。同じような立場の方の話を聞いてみたい。

A 認知症の人を支える家族の会「いるかの会」があります。認知症の家族を介護した経験のある人や現在も介護している人などが集って、悩みや介護の苦勞など気軽に話し合うことができます。会です。
地域福祉課 ☎444-3020



認知症相談



Q 最近、親の物忘れが気になりとても不安。どうすればいいんだろう…。

A 認知症の人や認知症の疑いがある人のご家族を訪問し、困りごとや心配ごとの相談に対応します。ひとりで抱え込まず、まずはご相談ください。
地域包括支援センター(本部・いほ相談室) ☎443-3723(本部) ☎451-6475(いほ)



介護保険サービス



Q 介護保険サービスを利用したいが、どうすればよいかわからないのだけど…。

A 要介護認定の申請や介護サービスの利用についてご案内します。また、介護保険サービス事業所・医療機関等と連携し支援します。まずはご相談ください。
地域包括支援センター(本部・いほ相談室) ☎443-3723(本部) ☎451-6475(いほ)



生きがいデイサービス



Q 定年退職後、趣味活動などをしながら、楽しく仲間づくりができる場所、ないかな。

A 生きがい対応型デイサービスセンターがあります。65才以上の介護保険サービスを利用していない人が対象で、仲間づくりや交流、健康増進を目的に、趣味活動や運動を取り入れた行事などを行っています。
生きがい対応型デイサービスセンター ☎444-3030



困ったときは社協へ行ってみよう

一人ひとりが思いやり 心ふれあう ぬくもりのまち

